岩盤ボーリング柱状図

調査名　川平（No４２）～No２５間経年建替に伴う地質調査工事（その３）

事業または工事名

調査目的及び調査対象

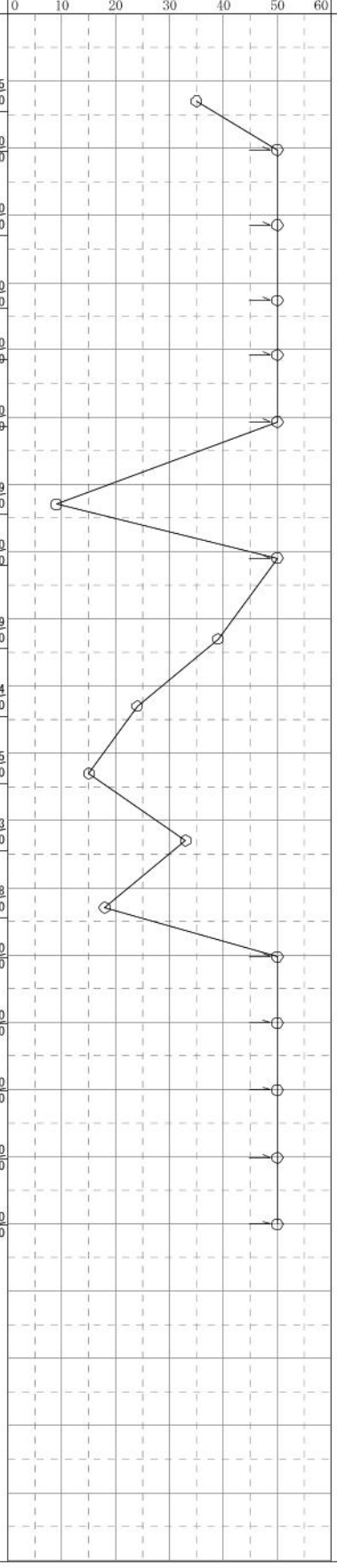
ボーリング名	No17	調査位置	静岡県浜松市天竜区			北緯	35° 04′ 19.8000″
発注機関	中部電力パワーグリッド　株式会社	調査期間	2021年03月12日～2023年07月31日			東経	137° 53′ 10.4000″
調査業者名	応用地質株式会社 電話　054-283-8161	主任技師	服部　康浩 地質調査技士 登録番号：	現場代理人	服部　康浩 地質調査技士 登録番号：	コア鑑定者	服部康浩 地質調査技士 登録番号：
ボーリング責任者	鬼澤由勝 地質調査技士 登録番号：第11375号						
孔口標高	ＴＰ 1299.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 8°
使用機種	試錐機：TOHO DO-D						
総削孔長	18.02m	エンジン：ヤンマー TF-90M		ポンプ：丸山(BIG M)GS204EB			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / R Q D [%]	記事
	1299.20	0.70		礫混じり砂質シルト	暗黄褐	－	－	－	－	－	－	0[0](90)	表層15cmは有機質。 砂岩、泥岩の細礫を混入する砂質シルト
1	1299.00	0.90				w4		C	Ⅳ	c	CL		
	1298.45	1.45				w5		D	Ⅴ	d	D	15[25](100)	細粒砂岩を主体とし、処々泥岩の薄層を挟む。 0.90～1.45mは風化により軟質となっている。 1.45～3.00mは概ね硬質良好なコアを主体とする。20°、45°の高角度の割れ目が発達し短柱～岩片状コアを主体とする。
2	1297.60	2.30	Ss	砂岩	淡灰	w2		B	Ⅲ		CM		
	1297.30	2.60				w3		C	Ⅳ	c	CL	15[40](100)	
						w2		B	Ⅲ		CM		
3	1296.90	3.00			灰								3.00～7.00mは全体に細かな割れ目が発達し岩片～礫状コアを主体とする。
	1296.30	3.60				w3		C	Ⅳ		CL	0[0](100)	
	1296.00	3.90	Ms	泥岩	暗褐								3.60～3.90mは泥岩の薄層を挟む。層内褶曲により地層が立っている。
4	1295.40	4.50		砂岩		w4		D	Ⅴ	d	D	0[0](100)	
5			Ss		暗灰			C	Ⅳ		CL	5[0](100)	
6	1293.90	6.00				w3				c			
	1293.30	6.60			緑帯灰			D				15[15](95)	
	1293.10	6.80					h1	B	Ⅲ		CM		
7	1292.90	7.00						C	Ⅳ		CL		
	1292.35	7.55	Ms	泥岩	暗褐	w5		D	Ⅴ	d	D	5[0](100)	強風化により礫混じり粘土状を呈する。
8			Ss	砂岩	淡灰	w2		C	Ⅳ	c	CL	0[0](100)	7.70mに傾斜65°幅１cmの弱層有り。
	1291.25	8.65											
	1291.10	8.80						D	Ⅴ	d	D		8.65～8.80mは礫混じり粘土状の破砕帯、傾斜は30°。
9	1290.90	9.00						C	Ⅳ	c	CL		9.00～9.55mは細礫状コアを主体とする。脆い。
	1290.35	9.55	Ms	泥岩	黒褐	w4		D	Ⅴ	d	D	0[0](100)	
	1290.10	9.80				w5		C	Ⅳ	c	CL		細粒砂岩。片状コアを主体とする。
10	1289.90	10.00	Ss	砂岩	暗灰								10.00～11.70mは泥岩優勢の泥岩砂岩互層。全体に軟質で脆く、岩片～細礫状コアを呈する。
	1289.20	10.70				w4		D	Ⅴ	d	D	0[0](100)	
11	1288.90	11.00	Ms	泥岩	黒褐	w3		C	Ⅳ	c	CL		
	1288.20	11.70				w4		D	Ⅴ	d	D	0[0](100)	
12	1287.90	12.00						C	Ⅳ	c	CL		11.70～12.00mは高角度の開口割れ目に沿って風化進行する。
	1287.40	12.50	Ss	砂岩	白帯灰	w3		D	Ⅴ	d	D	0[0](100)	12.00～12.50mは風化により岩片が脆く細礫状コアを主体とする。 12.50～13.00mは岩片状コアを呈する。
13	1286.90	13.00					h3	C	Ⅳ	c	CL		
	1286.40	13.50	Ms	泥岩	黄灰	w4		D	Ⅵ	d	D	0[0](100)	砂岩泥岩、風化により砂状コアを呈する。
14	1285.80	14.10		砂岩	白灰			C	Ⅳ	c	CL		
			Ss		淡灰	w2	h1	B	Ⅲ	c	CM	25[40](100)	14.10m以深はハンマー軽打により金属音を発する程度に硬質。 傾斜45°、60°の開口割れめに沿って褐色化が認められる程度。 短柱～岩片状コアを呈する。
15												15[15](100)	
16												20[60](100)	
17	1282.30	17.60										8[0](100)	
18	1281.88	18.02							Ⅳ	b			

標準貫入試験

孔内水位／測定月日	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃回数／貫入量
	1.15	9	11	15	35/300
	1.45				
	2.00	50			50
	2.05	50			50
4/24 2.80	3.00	16	16	18/90	50/290
	3.29				
	4.15	17	23	10/30	50/230
	4.38				
	5.00	27	23/50		50/150
4/25 5.70	5.15				
	6.00	23	27/40		50/140
	6.14				
	7.15	3	3	3	9/300
	7.45				
	8.00	18	32		50/200
	8.20				
4/26 9.20	9.15	11	13	15	39/300
	9.45				
	10.15	6	8	10	24/300
	10.45				
	11.15	4	5	6	15/300
	11.45				
	12.15	7	18	8	33/300
	12.45				
	13.15	8	4	6	18/300
	13.45				
	14.00	50			50
	14.05	50			50
	15.00	50			50
	15.03	30			30
	16.00	50			50
	16.03	30			30
	17.00	50			50
	17.03	30			30
	18.00	50			50
	18.02	20			20

N値－深度　図



原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	200	66/B2	CP/MC	0.1	80	0.0	W1/0	0
4/22	83	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	127	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	105	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	124	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
4/24	102	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	100	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	110	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	137	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
4/25	110	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	132	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	132	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	3
	165	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0
4/26	132	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0
	114	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0
	129	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0
5/8	166	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0
	166	66/B2	CP/DC	0.1	200	0.2	4	0